

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—93610

⑮ Int. Cl.³
F 23 C 11/00
F 23 D 15/00

識別記号
1 0 3

庁内整理番号
2124—3K
6448—3K

⑬ 公開 昭和58年(1983)6月24日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑯ ガスバーナ

大阪市東区平野町5丁目1番地
大阪瓦斯株式会社内

⑰ 実 願 昭56—190060

⑰ 出 願 人 大阪瓦斯株式会社

⑱ 出 願 昭56(1981)12月19日

大阪市東区平野町5丁目1番地

⑲ 考 案 者 柳原正直

⑲ 代 理 人 弁理士 西教圭一郎 外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

円孔部分およびその円孔部分から先端部に向けて小径となる円錐部分から成る燃焼室を有し、かつ先端部には前記円錐部分の小径端に連続して開口する絞り部分が形成されたバーナタイルと、

前記円孔部分における後端部寄りで円孔部分内面との間に環状の2次空気流路を形成して同心に配置され、中心部にガス燃料噴出孔が形成されるとともにそのガス燃料噴出孔を外囲して複数の1次空気流路が形成されたバーナトップと、

前記バーナタイルの後端部に接続され、1次および2次空気流路が共通に連通する空気供給室を形成するケーシングと、

前記ケーシングを気密的に貫通して前記ガス燃料噴出孔に接続されるガス燃料供給管とを備え、

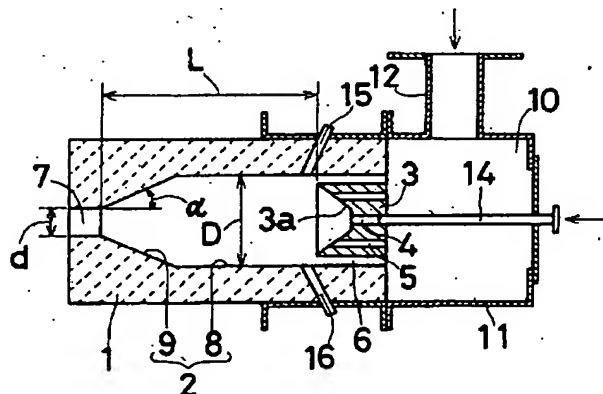
前記2次空気流路を流通する2次空気量は、前記1次空気流路を流通する1次空気量の0.8～3.2倍に選ばれることを特徴とするガスバーナ。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例の断面図、第2図はNOxの発生量を示すグラフである。

1……バーナタイル、2……燃焼室、3……バーナトップ、4……ガス燃料噴出孔、5……1次空気流路、6……2次空気流路、10……空気供給室、11……ケーシング、14……ガス燃料供給管。

第1図



第2図

